

評価調書（公募型プロポーザル方式）

発注担当課	委託名	委託箇所	業務上限額（税抜）	候補者
環境部清掃管理課	野田市リサイクルセンター運転管理業務委託	野田市目吹331番地	1,275,950,000円	株式会社 市川環境エンジニアリング野田支店

評価項目審査結果

選定基準	評価項目	評価方法	配点 (適格要件)	株式会社 市川環境エンジニアリング野田支店	
運転管理業務体制が適切に行われていること	・準備期間中（契約締結日の翌日から令和5年1月31日まで）に運転管理業務を行うための的確な準備体制を講じているか ・施設を運転するにあたり、運転人員や運転体制に適切な方策等を講じているか ・作業従事者、利用者、見学者等の安全確保が図られる内容となっているか	準備期間中に、運転管理業務を行うための的確な準備体制を講じている場合。また、運転人員や運転体制に適切な方策等の確保及び作業従事者、利用者、見学者等の安全対策等を講じている場合は3点とする	5点	3.9	
	・プラスチック製容器包装やペットボトル等の回収率や純度を上げるための工夫が提案されているか ・不燃残渣の搬出量を減量する工夫が提案されているか	プラスチック製容器包装やペットボトル等の回収率や純度を上げるための適切な方策等の提案により、資源化率30%を達成しており、かつ、不燃残渣の搬出量を減量する工夫が提案されている内容となっていれば6点とする。 なお、資源化率の向上の根拠が明確と認められる場合であって、資源化率が35%を達成しているときは8点、資源化率が40%を達成しているときは10点とする。	10点	7.3	
知的障がい者等の安定雇用、職場環境が配慮されていること	・知的障がい者等の安定雇用や福利厚生等の配慮について、適切な方策等を講じているか	安定雇用や福利厚生等の配慮について、適切な方策等を講じている場合は6点とする	10点	7.5	
	・知的障がい者等の職場環境の配慮について、適切な方策等を講じているか	職場環境の配慮について、適切な方策等を講じている場合は3点とする	5点	3.4	
	・ごみ処理施設で知的障がい者等の雇用実績を有すること	3人の知的障がい者等を3年雇用した実績を有する場合は3点とする	5点	3.8	
	・企業在籍型職場適応援助者（ジョブコーチ）を令和5年12月31日までに配置すること	企業在籍型職場適応援助者（ジョブコーチ）を令和5年12月31日までに配置する場合は3点とする。	5点	3.6	
個人情報の適切な保護が図られていること	・個人情報の適正な保護のための具体的な方策等を講じているか	個人情報保護マニュアルに基づく個人情報の適正な保護が図られる体制となっていない場合には失格とする	適格要件	○	
緊急時の危機管理体制が確立されているか	・緊急時の危機管理のための具体的な方策等を講じているか。また、市、地域住民、自治会への必要な情報提供の具体的な方策等が講じられているか	危機管理マニュアルを作成し、その徹底を図るなど、危機管理のための具体的な方策等が講じられている場合には3点とする	5点	3.1	
	・知的障がい者等の障がいの特性を理解し、緊急時の対応等、具体的な方策等が講じられているか	知的障がい者等の障がいの特性を理解し、緊急時の対応等、具体的な方策等が講じられている場合には3点とする	5点	3.8	
	・利用者の要望、苦情への対応するため具体的な方策等を講じているか	利用者の要望、苦情対応のための具体的な方策等が講じられている場合には3点とする	5点	3	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	・現金の取扱い等の経理処理が適切に行われるための具体的な方策等を講じているか	現金収入、つり銭の保管等に関する現金取扱マニュアルを作成し、その徹底を図るなど、適正な経理処理のための具体的な方策等が講じられている場合には3点とする	5点	3	
管理経費の縮減が図られるものであること	・電気、水道、消耗品費等の節減について具体的な方策等を講じているか	電気、水道、消耗品費等の節減について具体的な方策等を講じている場合は3点とする	5点	3	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際しての地元業者への配慮	・地元住民の雇用が計画されているか ・物品及び役務の調達に際して、地元業者への発注が配慮されているか	地元住民の雇用が計画され、物品及び役務の調達に際して、地元業者への発注が配慮されている場合には3点とする	5点	3.8	
事業計画に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	・運転管理業務の実績は妥当か ・施設管理に関する知識を十分に有しているか	運転管理業務の実績を有していない場合は失格とする	適格要件	○	
	・経営基盤が安定しており、事業計画に沿った管理を行う能力を有しているか	企業買収等の特別な事由がある場合を除き、原則として、経常損益等がプラスの場合には3点とする	5点	3.4	
	・職員構成（職員配置）、職員の保有する資格等が妥当なものとなっているか	職員構成（職員配置）、職員の保有する資格等が妥当な場合には3点とする	5点	3.4	
	・職員の指揮監督・管理体制が妥当なものとなっているか ・人材育成、接遇（研修）の方策等が講じられているか	職員の指揮監督・管理体制が適切に取られている場合。また、人材育成、接遇（研修）の方策等が講じられている場合には3点とする	5点	3.5	
	・一括して第三者に委託することなく、妥当なものとなっているか	一括して第三者に委託する内容となっている場合には失格とする	適格要件	○	
	非評価点計（小計） ① 5点×13項目 10点×2項目		85点	59.5	
価格点	提案価格		85点	1,271,600,000	
	評価点②			85	
	総合評価合計①+②		170点	144.5	
	評価順位			1	